

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部 海洋情報監理課

課長 山崎 哲也

TEL : 098-867-0118 (内線2510)

FAX : 098-868-5242



第十一管区海上保安本部
平成28年8月3日

海洋情報パネル展を開催 ～9月12日は水路記念日です～

今年で145回目を迎える水路記念日を記念して、沖縄美ら海水族館等で海洋情報パネル展を開催します。

実施期間 平成28年8月13日(土)～9月26日(月)

実施場所 ①沖縄美ら海水族館 1階ポスター掲示コーナー(出口付近)
・8月19日(金)は職員により、パネルの解説等を行います。
②那覇港湾合同庁舎 1階ロビー(那覇市港町2-11-1)
・8月22日(月)から26日(金)午前の間、AOV[※]本体の展示を行います。

※太陽光発電や波の力を用いて、無人で長期にわたって海象・気象情報を網羅的に観測することができる最新の海洋観測機器。

展示内容

- ・水路記念日と海洋情報業務の紹介
- ・海底地形の測り方
- ・3D画像でみる日本周辺海域の海底地形
- ・海図の今昔
- ・海底地殻変動と地震のメカニズム
- ・海洋台帳

水路記念日について

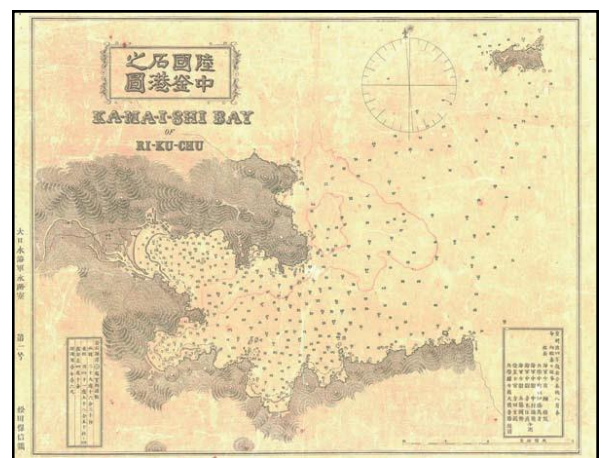
9月12日は、海上保安庁海洋情報部（旧水路部）創立の日です。

明治4年（1871年）に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に置かれた5つの局のうちの1つに第4水路局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全のため、海図づくりを使命とした水路局が初めて誕生しました。

昭和46年（1971）の創立100年を期して、9月12日を創立の日とし、以後、この日を水路記念日としています。

勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ初代水路部長の柳檜悦（やなぎ ならよし）少佐は、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。

東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で、現在の水路業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図づくりが開始されました。



海図第一号「陸中國釜石港之圖」
(明治5年)

柳檜悦少佐【初代水路部長】

水路局から海洋情報部への変遷

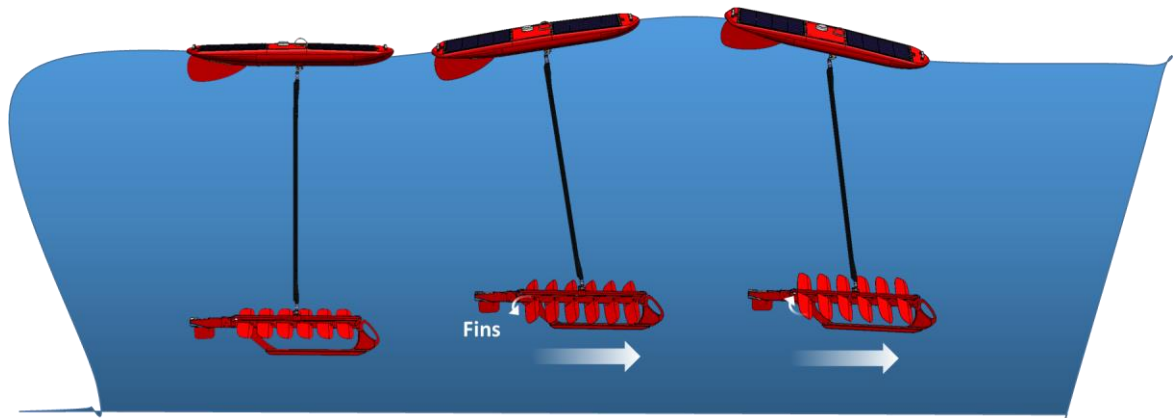
水路局は、兵部省に設置されて以来、所属省庁が移り変わって現在に至っています。

明治	4年(1871年)	9月12日(旧暦7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年(1872年)	4月5日(旧暦2月28日)	海軍省水路局
"	5年(1872年)	11月13日(旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年(1876年)	9月1日	海軍省水路局
"	19年(1886年)	1月29日	海軍水路部(海軍省の外局)
"	21年(1888年)	6月27日	水路部(海軍の冠称廃止)
昭和	20年(1945年)	11月29日	水路部(運輸省の外局)
"	23年(1948年)	5月1日	海上保安庁水路局
"	24年(1949年)	6月1日	海上保安庁水路部
平成	14年(2002年)	4月1日	海上保安庁海洋情報部

AOV とは

AOV とは、波の上下動を動力源として移動し、観測機器や通信に使用する電力は太陽光発電から供給するため、このような名称としています。これらの特徴から、これまで船でしかできなかった観測を、ゼロエミッションで、生物や環境への影響なく長期に行うことができます。また、AOV は陸上から遠隔操作や観測データの転送を衛星通信により可能としており、24 時間リアルタイムに気象・海象データを取得することができます。

【AOV 移動原理イメージ】



【AOV の仕様】

- ・ フロート寸法 305cm × 81cm × 23cm
- ・ 水中グライダー寸法 213cm × 142cm × 21cm
- ・ 重量 約 150kg
- ・ 観測項目 海潮流、水温、塩分、波浪
潮位、気温、気圧、風向風速
- ・ 安全対策 標識灯(LED 発光)
レーダーリフレクター
船舶接近時自動回避
陸上からの衛星を通じた監視
- ・ 平均移動速度 約 1.3Kn (約 2.4km/h)